

令和元年度 社会福祉施策と連携した多頭飼育対策アンケート 調査概要（案）

1. アンケートの調査目的

- ・ 各自治体（都道府県、政令市、中核市）で取り組んでいる多頭飼育対策について事例の収集を行い、福祉部局等と連携した多頭飼育対策を進める場合に活用できるガイドライン策定に向けた基礎情報とする。

2. 調査対象

- ・ 都道府県（47）・政令市（20）・中核市（58）（計 125 自治体）

3. 調査時期

- ・ 第2回検討会（2019年8月8日開催）での意見を踏まえ、事務局にて内容を検討・整理し、委員に最終確認後、アンケートを実施する。
 - ① 配布：2019年9月上旬～中旬
 - ② 締切：2019年9月下旬～10月
 - ③ 集計・とりまとめ：2019年10月～

4. 調査手法

- ・ 各自治体の動物愛護管理部局へ E-mail 等にてアンケート表（Excel 形式）を配布・回収する。

5. アンケートの構成

- ・ Q1：不適正な多頭飼育対策に係る自治体の状況について
- ・ Q2：自治体が把握している不適正な多頭飼育の個別事例について（以下、「個別事例」という）

環境省「令和元年度 社会福祉施策と連携した多頭飼育対策推進事業」アンケート調査票記入のお願い

都道府県・政令市・中核市名				
御 問 い 合 わ せ 先	部署			
	担当者補職			
	担当者氏名			
	電話番号	-	-	内線:
	FAX番号	-	-	
	電子メールアドレス		@	

調査の目的

環境省では、平成30年度に、社会福祉施策と連携した不適正な多頭飼育への対策を推進する観点から、自治体の動物愛護管理部局や有識者等から構成される「社会福祉施策と連携した多頭飼育対策に関する検討会」を設置し、多頭飼育対策に係るガイドラインの策定に向けた議論を進めております。今般、検討会での議論の基礎情報の収集を行うことを目的として、アンケートによる調査を実施します。

これまでのご経験を踏まえて、可能な範囲で回答をいただけますと幸いです。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、返信にあたっては、電子メールのタイトルを「**多頭飼育対策アンケート(〇〇〇)**」(※〇〇〇は貴自治体名)として、**●月●日(●)12:00**までに回答をいただけますと幸いです。

【調査実施主体】

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

電話:

E-mail:

環境省「令和元年度 社会福祉施策と連携した多頭飼育対策推進事業」回答用シート

以下のアンケートにご回答ください。(なお、自由回答欄について、必要に応じて適宜セルの行幅を広げてご記入ください。)

Q1【多頭飼育対策に係る自治体の状況について】

(1) 貴自治体における犬・猫の多頭飼育の届出の義務付け状況

貴自治体において、多頭飼育の登録又は届出等の条例又は要綱等の義務付けの状況について、あてはまる選択肢の番号を1つ、回答欄に記入して下さい。

選択肢	内容			回答欄
1	義務付け有り	条例又は要綱に基づき、多頭飼育届出の義務付けを行っている。		
		犬	頭	
		猫	匹	
		※その場合の具体的な届出の対象となる犬・猫の飼育頭数についてご記入ください	犬猫あわせて	頭
2	義務付け無し	多頭飼育の届出の義務付けは行っていない。		

(2) 貴自治体における不適正な多頭飼育に対する対応の状況

貴自治体における平成30年度の不適正な多頭飼育(犬・猫2頭以上)に関する苦情件数について、お答えください。

項目	内容		回答欄
1	苦情件数	動物の不適正な多頭飼育により周辺の生活環境が損なわれている事態について、平成30年度に複数の住民から寄せられた苦情件数について記載してください。	

(3) 貴自治体における不適正な多頭飼育に対する対応の状況

貴自治体において不適正な多頭飼育への対応として、各項目に示す取組内容に対し、現状の実施状況に当てはまるものを、各項目に対して選択肢の番号(1~4)から1つ選んで、各解答欄にご記入ください(複数回答不可)。

【選択肢】

- 1.実施済みである
- 2.未実施だが、実施に向け取組んでいる
- 3.未実施であるが、実施について検討中
- 4.未実施であり、取組の予定はない

また、下記項目1~12について、「1.実施済みである」を選択した自治体については、A欄及びBの欄の各項目の取組の定期・不定期、制度化の状況についてお答えください。(複数回答不可)

項目	内容		回答欄
1	行政組織内の情報共有	<p>(A)不適正な多頭飼育に関する他部局との情報共有</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。)会議体の定例化の状況、制度化の有無について、以下の選択肢(1~3)から、当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個別の事案ごとに情報共有 2. (個別の事案の有無に関係なく)不定期に情報共有 3. 定期的に情報共有 	
2	行政組織内の会議体	<p>(A)多頭飼育全般に関する、行政組織内での情報共有のための会議の開催</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。)会議体の定例化の状況、制度化の有無について、以下の選択肢(1~3)から、当てはまるものを1つ選んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不定期に開催 2. 定例化されている(ただし制度化はされていない) 3. 定例化され、会議体の開催が制度化されている 	
3	社会福祉協議会	<p>(A)社会福祉協議会との連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。)連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている 	
4	連絡体制 民生委員	<p>(A)民生委員との連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。)連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている 	

5	自治会	<p>(A)自治会との連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。) 連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <p>1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている</p>	
6	獣医師会	<p>(A)獣医師会との連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。) 連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <p>1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている</p>	
7	動物病院	<p>(A)動物病院との連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。) 連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <p>1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている</p>	
8	動物愛護推進員	<p>(A)動物愛護推進員との連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。) 連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <p>1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている</p>	
9	動物愛護団体・ボランティア	<p>(A)動物愛護団体・ボランティアとの連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。) 連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <p>1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている</p>	
11	警察	<p>(A)警察(本部、警察署)との連絡体制の整備</p> <p>(B)(上記にて「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。) 連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。</p> <p>1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている</p>	

連絡体制

12	その他機関	(A)①その他機関との連絡体制の整備について、取組状況についてお答えください。	
		(A)②その他機関の種別(例:医療機関、救急・消防等)をお答えください。	
		(B)(上記にて取組を「1.実施している」を選択した自治体のみご回答ください。)連絡体制の定期・不定期の状況、制度化の有無について、当てはまるものを選んでください。	
		1. 不定期で連絡 2. 定期的に連絡(連絡の仕組みは制度化されていない) 3. 定期的に連絡、かつ連絡の仕組みも制度化されている	
13	不適正な多頭飼育に関する市民向けの普及啓発媒体の配布		
14	不適正な多頭飼育対策として動物の一時保護		
15	早い段階での不妊去勢手術の普及啓発		
16	早い段階での不妊去勢手術への公的な助成・支援		
17	行政組織幹部・地方議会議員への説明・協力依頼		
18	不適正な多頭飼育者の定期的な戸別訪問		
19	不適正な多頭飼育者のメンタルケア		
20	不適正な多頭飼育の防止に向けた自治体職員向けのガイドライン・手引き等の策定		
21	都道府県内の市町村への不適正な多頭飼育の研修(※都道府県のみ回答をお願いします。)		
22	その他	具体的にご記入ください。	

(4) 動物愛護管理局が抱えている不適正な多頭飼育に関する課題について

貴自治体の動物愛護管理局が抱えている不適正な多頭飼育に関する各課題について、課題に当てはまる度合いについて、以下の5段階の選択肢(1~5)から1つ選んで各解答欄に記入してください(複数回答不可)。

【選択肢】

1. 該当する、 2. ある程度該当する、 3. どちらとも言えない、 4. あまり該当しない、 5. 該当しない

項目	内容	回答欄
1	不適正な多頭飼育状態に関する情報が入っていない	
2	不適正な多頭飼育者とのコミュニケーションができない	
3	不適正な多頭飼育者が動物の所有権を手放さない	
4	動物を一時収容する施設・スペースがない	
5	連携できる民間動物病院が少ない	
6	連携できる動物愛護団体・ボランティアが少ない	
7	福祉部局との連携・協力体制が不十分である	
8	その他	具体的にご記入ください

個別事例(Q2)に関するアンケート素案について

1. 個別事例(Q2)の収集方法(案)

事例収集の方針は以下の通り。

(1) 個別事例の件数：5件以内

(2) 対象となる期間(案)

- ・過去5年以内(2015年4月から現在まで)に発生したもの(過去5年より前に発生し、直近5年以内に問題が継続していることが確認された事例を含む。)
- ・事例の選定にあたって、事例の終結か、継続かは問わない。

(3) 事例を抽出する基準(案)

- ・より頭数が多い事例
- ・より解決が困難である(であった)事例
- ・解決に時間を要した事例・長期にわたって継続している事例
- ・世代別に見た事例
- ・居住環境(持ち家、借家、公営住宅)の事例

2. 個別事例に関するアンケート(案)について

(1) 基本情報

- 1) 最初の情報把握の年度： _____ 年度
- 2) 最初の情報把握から解決(あるいは現在)までの期間： _____ 年 _____ ヶ月
- 3) 飼い主の性別： 男性 女性
- 4) 飼い主の年代： 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
- 5) 同居家族の有無： あり なし
- 6) 地域性： 農村・中山間地域 郊外住宅地 住宅密集地 商業地・繁華街
- 7) 最初の情報探知： 本人 家族・親戚 近隣住民 動物愛護団体 保健福祉担当者 一般市町村
- 8) 解決の経緯(人間)： 飼い主の納得と行動変化 飼い主死亡 飼い主逮捕 飼い主転居
- 9) 解決の経緯(動物)： 行政引取り 譲渡(本人努力) 譲渡(関係者の協力) 飼い方改善

(2) 周辺環境・近隣住民の様子(該当する項目(はい・いいえ・不明)に○を付ける)

- 1) 住居はワンルームあるいは1DK程度の小規模なものである(あった)
- 2) 部屋数が4部屋以上ある広い住居である(あった)
- 3) 室内の悪臭がひどい(ひどかった)
- 4) 屋外から悪臭がする(した)
- 5) 室内で害虫が発生している(いた)
- 6) 屋外まで害虫が発生している(いた)

(3) 飼い主の様子(該当する項目(はい・いいえ・不明)に○を付ける)

- 1) 飼い主が不適正な多頭飼育に陥った経緯・時期

- (ア) 家族との死別
 - (イ) 失業
 - (ウ) 離婚
 - (エ) けが・病気
- 2) 飼い主の生活の状況
- (ア) 経済的に困窮している (いた)
 - (イ) 生活保護を受けている (いた)
 - (ウ) 被害妄想のような発言をしている (いた)
 - (エ) 経緯の説明に一貫性がなく、二転三転している (いた)
 - (オ) 短時間のうちに同じ話を何度も繰り返している (いた)
 - (カ) 担当者個人の顔を認知して覚えている (いた)
 - (キ) お酒やギャンブルに依存する様子が見られる (見られた)
 - (ク) 高血圧や心疾患など身体的な病気を抱えている (いた)
 - (ケ) 体力の衰えや筋力・歩行の弱さが見られる (見られた)
 - (コ) 本人が死亡・入院して問題になっている (なった)
 - (サ) 動物への愛着を持っている (殺処分を恐れている)
 - (シ) 動物への支配欲を持っている (扱いが粗雑である)
 - (ス) もともと保護活動や譲渡活動を行っている (いた)
 - (セ) 過去に繁殖業をやっていた記録がある (あった)
 - (ソ) 家族や同居者がいる (いた)
 - (タ) すぐに連絡が取れる親戚等がいる (いた)
 - (チ) 行政担当者の話を比較的素直に聞く (聞いた)
 - (ツ) 行政担当者の話に拒否反応が見られる (見られた)
 - (テ) 動物行政担当者よりも、保健師・福祉担当者を信頼している (いた)
 - (ト) 動物行政担当者よりも、動物愛護団体を信頼している (いた)
 - (ナ) 所有権の放棄を素直に受け入れる (受け入れた)
 - (ニ) 所有権を放棄しようとしめない (しなかった)
 - (ヌ) 怒鳴られたり、非難・暴言を向けられたりすることがある (あった)
 - (ネ) 暴力を振るわれる恐れを感じる (感じた)
 - (ノ) 担当者に暴力を振るう (振るわれた)
- (4) セルフ・ネグレクトチェック項目 (該当する項目 (はい・いいえ・不明) に○を付ける)
- 1) 食べ物やゴミが放置されている (岸 7.)
 - 2) 排せ物や排せ物で汚れた衣類や物が放置されている (岸 8.)
 - 3) 家屋内にカビが発生している (岸 9.)
 - 4) 髪・髭・つめが伸び放題である (岸 14.)
 - 5) 身体から悪臭がする (岸 15.)
 - 6) 全裸に近い状態である (岸 18.)
 - 7) ボロボロの衣類を着用している (岸 20.)
 - 8) 必要な医療の提供を拒否する (岸 21.)
 - 9) 必要な保健・福祉サービスを拒否する (岸 26.)
 - 10) 他人との関わりを拒否する (岸 28.)
 - 11) 近隣住民との関わりがない (岸 29.)
 - 12) 近隣住民との間でトラブル・苦情が発生している (岸 30.)

13) 金銭の適切な使い方ができない (岸 33.)

14) 家賃や公共料金が未払いである (岸 34.)

(5) 動物の様子 (該当する項目 (はい・いいえ・不明) に○を付ける)

- 1) 10 頭以上を飼育している (いた)
- 2) 30 頭以上を飼育している (いた)
- 3) 犬の多頭飼育である (あった)
- 4) 猫の多頭飼育である (あった)
- 5) 犬と猫の両方がいる (いた)
- 6) 狭いケージに個々に収容している (いた)
- 7) 家屋内・敷地内では放し飼いにしている (いた)
- 8) 糞尿を適切に片付けていない (いなかった)
- 9) 皮膚炎や病気が発生している (いた)
- 10) 動物に寄生虫がいる (いた)
- 11) 人獣共通感染症に関して検査結果が陽性の動物がいる (いた)
- 12) 室内に動物が置き去りにされている (いた)
- 13) 不妊去勢手術を行っていない (いなかった)
- 14) 指導している間にも、保護する動物が増えた (増えていた)

(6) 関与する民間団体の様子 (該当する項目 (はい・いいえ・不明) に○を付ける)

- 1) 近隣住民・自治会等が飼い主を心配している (いた)
- 2) 近隣住民・自治会等が飼い主を非難している (いた)
- 3) 地域コミュニティ全体の関係が希薄である (あった)
- 4) 地域コミュニティ全体のつながりが強い地域である (あった)
- 5) 動物愛護団体が飼い主への非難を行っている (いた)
- 6) 動物愛護団体が飼い主への支援を行おうとしている (いた)
- 7) 地域内の動物愛護団体・ボランティアが関わっている (いた)
- 8) 県外からの動物愛護団体・ボランティアが関わっている (いた)
- 9) 動物の救護に際し、獣医師会が連携している (いた)
- 10) 動物由来感染症対策に際し、獣医師会が協力している (いた)
- 11) 飼い主本人との対話に際し、社会福祉協議会や民生委員等との連携をしている (いた)

(7) 行政側の課題・対応・対応策 (該当する項目 (はい・いいえ・不明) に○を付ける)

- 1) 動物行政担当者だけでなく、保健師・福祉担当職員との情報共有を行っている (行った)
- 2) 動物行政担当者だけでなく、警察も関わっている (いた)
- 3) 飼い主に「殺処分しない」と約束して引き取っている (引き取った)
- 4) 飼い主に「殺処分の可能性もある」と説明して引き取っている (引き取った)